

## 綾瀬市の就労準備支援事業に手を上げます

### <綾瀬市の概要>

綾瀬市は、神奈川県の中部に位置する大和、座間、海老名、厚木と同じ県央エリアにあります。人口は約 8.3 万人、最寄り駅は、小田急線長後駅、相鉄線相模大塚、さがみ野で、かしわ台駅からコミュニティバスが運行されています。座間、海老名、大和と隣接しているので3市とは近い関係にあります。生活困窮者自立支援事業では、福祉総務課で相談窓口を設け住宅確保給付金以外に任意事業として就労準備支援事業、家計改善、学習支援を実施しています。

### <経過>

綾瀬市とは、2018年に就労準備支援事業に関する問い合わせがあり、岡田と生活クラブの片山さんの2人で説明に行った縁があります。その後、市役所内に就労支援に関する相談窓口を設けその委託先はキャリアコンサルタントを抱えている派遣会社に任せたいとのことで、この話はそのままになりました。ところが、今年になって就労準備支援事業の仕組みを見直そうと座間市の地域福祉課に相談、「はたらっく・ざま」に見学にられました。綾瀬市としては、近年キャリアコンサルタントが対応できる利用者が減少、ひきこもり経験から就労をめざすことが容易ではない方たちが増えている状況から、これからは利用者それぞれのニーズに対応した極め細かな支援をしていきたいとのことでした。

そこで、臨時に共同企業体代表者会議を開催し、綾瀬市における就労準備支援事業に手を挙げるか否かを協議した結果、さがみ生活クラブより綾瀬市のまちづくりを進めるとの意向を受けて共同企業体で推進することを決定しました。

### <綾瀬市の組合員に働きかける>

この事業受託の目的は、座間、足柄下郡、平塚と同様に綾瀬に困窮者支援を通して市民のたすけあいを

広げることにあります。利用者の生活から就労までの支援を通して安心して暮らせる地域づくりをめざします。同時に困窮者支援の事業をきっかけに、綾瀬コモンズに働きかけることで多くの組合員に新たな活動を通して様々な参加の入口をつくり、コモンズの活性化を図るものです。

スタートとして、8月2日に、綾瀬市保健福祉プラザで学習会を企画、関心ある組合員の参加を呼びかけました。参加者は9人、綾瀬市の職員2人も参加し、「はたらっく・ざま」の事例を通して意見交換をしました。参加者からは、綾瀬市でもぜひこの事業を実施してほしい、関心があるので今後も参加したい、他の活動をしているが時間を取って関わってほしい…などの感想がありました。

第2回の集まりは9月12日に予定、1回目の参加者に新たに関心ある人も加わります。

今後は担い手を増やしていくために、説明会を開催し関心ある人の輪を広げながら、受託におけた準備をしていく予定です。綾瀬市民にとってこの事業が生まれることでたすけあいのネットワークが構築されることをめざします。

おかだゆりこ

自分たちが欲しい「福祉」も自分たちで作っていこう!

自分の「夢の実現」のために「地域づくり」に取り組む輝く人の話を聞いてみませんか。

全国でも注目されている「誰も知らない相談支援」は、座間市での実践です。行政と市民の協働の実践、生活クラブ組合員のカも結果されているって存知でしたか?この取組が「社会経済フォーラム(GSEF) 九州大会で社会的企業経済のモデルとして発表され、世界も注目の実践です。

ひとりひとりの困りごとを  
大勢で  
**地域を耕し、自治していこう!**

◆第2弾 8月2日(水) 13:30~15:00

「はたらっく・ざま 市民参加による実践」  
共同企業体(生活クラブ神奈川・NPOワーカーズ・コレクティブ協会・さがみ生活クラブ生協)主催

講師: (特非) ワーカーズ・コレクティブ協会  
副理事長 岡田百合子さん  
(はたらっく・ざま代表)

会場:綾瀬市保健福祉プラザ 多目的室2

**本日のプログラム**